

「しごと」によって、こんなに違う?!

私の「しごと」スタイル

目に優しいメガネ

目に優しいブルーライトカットのメガネです。仕事柄ほぼ一日中PC画面を見るため、目にかかる負担を最小限に抑えることを期待しています。



最大限にパフォーマンスを発揮できるように創意工夫!

プライベートにも必須の手帳

仕事とプライベートは色分けして分かるように使っています。プライベートも充実できる当社ですから毎日予定がいっぱいです!

アイデアが詰まったノート

方眼紙スタイルのノート。ウェブデザインのレイアウトや図表なども書きやすい方眼紙に色々なアイデアを書き留めています。

株式会社キャンドウコンセプト
企画開発部
村上 茜さん(入社1年目)

当社は大手企業などの情報システムを構築する、いわゆるシステムインテグレーターです。私は自社のホームページの担当で、お客様の業務システム構築にも少しずつ携わるようになりました。入社1年目ですから覚えることばかりですが、自社ホームページを一人でリニューアルしたときの充実感はいまだに忘れられません。最新のウェブデザインの技術を駆使して制作したホームページを見た先輩社員から「見やすくなった」とか「カッコいいね」という言葉を頂いたのが嬉しかったですね。普段はカジュアルな服装で靴もスニーカーなどの動きやすい格好を心掛けていますが、今日はアポイントがあったのでお気に入りのスーツスタイルです。さらに気分やモチベーションを高めるためにメガネやノートといった小物にも私なりのこだわりがあります。

調理白衣とそば打ち道具が欠かせません!

そばには、そば専用の包丁

ずっしりと重量感があります。均等にスピーディーにそばを切ります。

歴史が詰まっています!

長年、店で活躍しているこね鉢。年季が感じられるでしょ!

そばを均等に伸ばす!

体の一部のように自在に操ってそばを均等に伸ばすのが、美しく仕上げるコツ。

株式会社更科堀井
麻布十番本店
持田 拓也さん(入社3年目)

そば打ち職人にあこがれて入社3年。やっと何とか自分のそばが認められて、お客様にふるまえるようになりました。そば打ちは気温や湿度に左右されやすく、いつも同じようにやっていたのでは微妙に出来上がりが変わってしまいます。特にさらしなそばは繊細なので、毎日の気温や湿度によって微妙に水の量を調整しています。そば打ちに欠かせないのが、こね鉢、のし棒、そば包丁。写真のこね鉢は直径60cmはあります。これで20人前、そば粉1.8kgを1回で打ちます。もっとも気を使うのが「のし」の工程です。ここでいかに均等に薄く伸ばせるかで、仕上がりに差が出ます。そば包丁は、それ自体の重さを利用してリズムカルに切っていきます。先輩職人は皆さん、マイ包丁をそろえているので、近いうちに僕も手に入れたいですね!

一言に「しごと」といっても業界や職種によって、仕事着や仕事道具は様々です。そこで、先輩社会人に、仕事で欠かせない仕事着と道具について伺いました。ここでは、仕事内容が全く異なる4人の先輩社会人に登場いただきました。

いつも必携のメガネレンチ
微妙な力加減で、タイヤのボルトやナットを緩ませる工具です。

工具一つひとつに微妙なクセがあり、使い込むほどに手になじむ!

大型サイズのドライバー

強い力を加えてもネジ山を潰さないマイナスドライバーを愛用しています。

部品を挟むプライヤー

エンジン内のホースなどをつまみ、余分な爪などをカットします。

彌生ディーゼル工業株式会社
自動車整備士
高橋 翼さん(入社3年目)

自動車整備の仕事では、技術力と整備工具の精度のコンビネーションが非常に大事になります。私が専門とするトラックやトレーラーといった大型車でも、一つひとつの部品は緻密ですから、整備の際には各部品にフィットした工具で丁寧に緩めたり、締めたりする必要があります。いうまでもなく、ここで使用する道具はどれも繊細そのもので、例えば、メガレンチは力を加えると微妙にしなりますし、ワイヤーやネジなどを挟むプライヤーや、ネジを回すドライバーも微妙な力の入れ具合に絶妙に反応するものを使用します。整備の腕の見せどころは、その一つひとつをいかに使いこなすかです。このメガレンチもプライヤーもドライバーも先輩から譲り受けたものです。徐々に自分の手になじんでいる感覚があり、これからも大事に使い続けていきたいです。

インカムでケアもスムーズに!

入居者の入浴時などお世話をする際は必ず装着しています。これでほかのスタッフへの連絡事項や、ケアを手伝ってほしいといった連絡をしています。

これがケアスタッフに欠かせない「三種の神器」です!

タブレットで毎日の活動を入力
日々の入居者の活動記録や介護記録を入力してケアステーションのパソコンに送信。ケアスタッフ全員で情報を共有して支援を行っています。

これで入居者の健康を確認

入居者の健康状態を確認するために体温計、血圧計、聴診器のバイタルセットは必需品です。

社会福祉法人合掌苑
鶴の苑
小田桐 未来さん(入社3年目)

有料老人ホーム「鶴の苑」でケアスタッフとして働いています。鶴の苑は、元気な高齢者が暮らす住宅型有料老人ホームと、認知症になった方が生活される介護付き有料老人ホームを併設しています。そんな入居者の健康状態に合わせて身体的な介護をするのが私の役割です。当然、入居者一人ひとりの健康状態は異なりますので、状況に応じたケアを心掛けています。また、スタッフ同士の連携も不可欠です。そんな仕事をしている私に不可欠なツールが、入居者の日々の健康履歴を記すためのタブレット、ケアスタッフ同士の連絡に不可欠なインカム、入居者の健康状態をチェックするための体温計、血圧計、聴診器などが入ったバイタルセットです。こうしたツールがあるおかげで入居者に対して適切で迅速なお世話ができています。